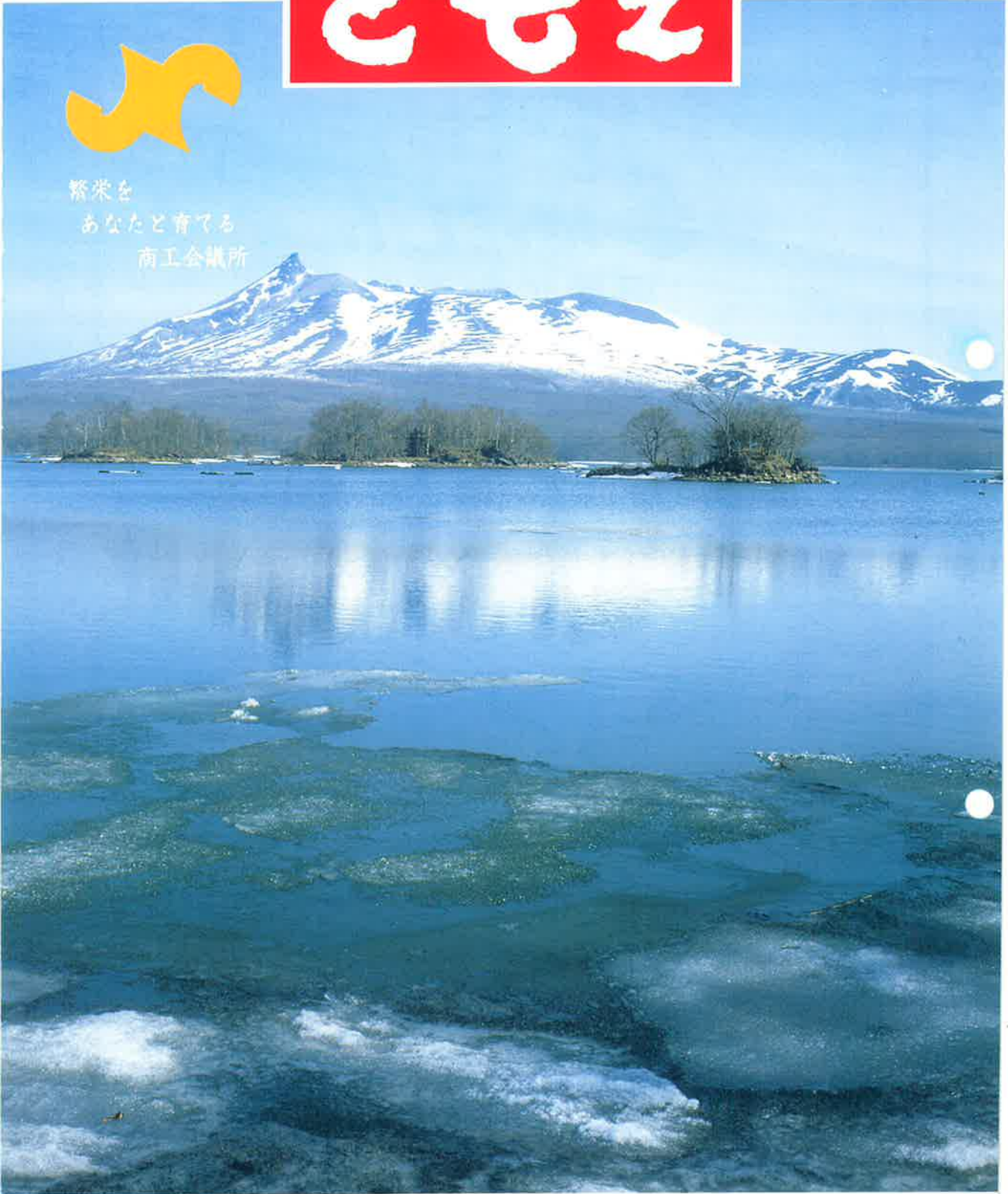


昭和55年8月26日第三種郵便物認可 平成4年1月10日発行(毎月1回10日発行)

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



No. 126

■ 函館商工会議所報 ■

1992 新年号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511(代)	えさん支店	亀田郡志山町字中浜115番の4	TEL84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521(代)			

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。

あなたの預金で郷土を拓く。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ 新年号(通巻126号) 目次

今月の表紙／視点	2	3	1
年頭所感	2	3	1
函館商工会議所 会頭 若林 利次			
日本商工会議所 会頭 石川 六郎			
会議所の動き	4	5	9
・第三回臨時議員総会開催			
・優良商工従業員表彰式を挙行			
・本所若林会頭、道商連副会頭に選任される			
・函館経団協設立される			
・青函ツインシティ推進協開催			
・「サービスマーク」セミナー開催			
新春誌上名刺交換	10	17	
新春対談	18	23	17
「函館経済圏の現況とこれからの課題」			
出席者			
函館市長 木戸 浦隆 一氏			
函館商工会議所会頭若林 利次			
特別寄稿	24	25	
・十二支物語 申			
・成人おめでとう			
調査レポート	26	31	
・地域の景気 金融経済概況 十月			
・市内第一種大規模小売店舗売上高 十月			
・モデル条件別貸金調査速報	32	33	
アドバイスコナー	32	33	
・消費者からみた販売・接客ベカラズ集 (3)			
Q & A	34	35	
共済推進コーナー	36	35	
・函館商工会議所「四共済制度」ご紹介			
・ティータム	38	39	37
ご案内	38	39	37
告知板	40	39	37

◇今月の表紙

大沼国定公園

「大沼公園」の名称は、明治三十六年の道議会によって決められました。その後、大正三年本田静六博士により大規模な公園整備が行われた結果、翌大正四年に新日本三景に選定、さらに昭和三十三年には、念願の国定公園に指定され現在に至っています。

大沼湖は三つの湖からなり、最も大きい大沼はせき止め湖で周囲二十四キロメートル、小沼は陥没湖で周囲十六キロメートル、最も小さい専菜沼は小沼の西隣りに位置し周囲は八キロメートルとなっています。

また、大沼のシンボル駒ヶ岳は三つの山で構成されており、左から剣ヶ峰千百三十三メートル、砂原岳千百四十四メートル、隅田盛八百九十二メートルからなり立っています。

写真提供／(株)函館観光協会

視点

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、湾岸戦争の終結、ソ連邦の消滅など、世界的に大きな事件がありました。これら地域に住む方々にとつては、大変難かしい問題の山積している新年を迎えました。

このような中であつて、わが国の経済は、緩やかに減速してきており、株や地価の高騰などによるいわゆるバブル経済は沈静化の方向にあります。なお全体としては、拡大基調を維持しています。

函館におきましても、この傾向には変わりはありませんが、ただ五百万人を越す観光客の入込みが景気を下支えし、道内では、現在でも景気の良い都市の一つとされています。

今年には市制施行七十周年です。そして当所は平成八年には創立百年の記念すべき日を迎えます。この記念すべき日を立派に迎えるためには、行政とともに、昨年策定された函館の将来を決定するともいえる三つの計画、即ち青函インターロック交流圏構想に基づく国の整備計画、新港湾十か年計画、そして駅前地域の地区更新基本計画を強力に推進して行かねばなりません。また、本年度内に策定される第二期テクノポリス函館計画も、第二次産業振興のために実施していく必要があります。

さらに、これら全市的な諸問題を、経済界の立場で検討、協議していくための市内経済三団体が構成する函館経済団体協議会の役目も大切です。今年、じっくりと腰を据えて、これら課題に対処していきたいものです。

年 頭 所 感



函館商工会議所
会 頭 若 林 利 次

平成四年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

振り返ってみますと、昨年は内外政治経済両面において、新しい価値観に基づく新たな国際秩序を模索する多くの事件があり、世界史上極めて大きな意義のある転換の年でありました。そしてこれら課題の具体的な処理が急がれていることを考えますとき、正に身の引締まる思いで新年を迎えたといえるのであります。

このような背景のもとで、一昨年後半以来景気減速の段階に入ったわが国経済は、昨年後半よりその減速感を増し、この間二回の公定歩合引下げによる金融緩和策が実行されたものの、先行きの不透明感は依然として拭い去ることはできず、また、いわゆるバブル経済からの脱出も未だ完全とは言えぬ中で、本年後半には再び拡大局面を迎える可能性もあるとの見方も出てきているこの頃であります。

当地域におきましては、年間500万人台に達する見通しの観光入込客が、地域経済を下支えし、何とか良い状況の中でお正月を迎えることが出来ました。

また、昨年は函館の将来を左右する三つの重要な計画が策定されたのも特色ある出来事でした。その一つは青函インターブロック交流圏構想に基づく、国土庁の青函地域総合整備計画調査報告書と北海道開発庁の青函圏地域開発整備事業推進調査報告書で、愈々北日本第三の経済文化圏形成を目指して、力強い第一歩が進められることになりました。次は新函館港港湾計画で、大型貨物船の着岸できる物流拠点としての港地区の整備を始め、西部のウオーターフロント地区の改修も一段と促進されることになりました。三番目は函館駅周辺地域地区更新基本計画で、新駅を含む新しいターミナル地区の将来構想図も示され、駅周辺41ヘクタールに及ぶ地域の再開発には、注目すべき事業が多く計画されており、な

これら重要な三計画実施の第一年目としての新春を迎えたのであります。

お早急に努力を要する部分も残されており、その第一に挙げなければならないのは高速交通体系の整備です。函館は空の高速交通体系には恵まれていますが、東京、大阪の二大都市圏への増便は現状では不可能に近く、一刻も早い他の高速交通機関即ち新幹線鉄道と自動車専用道の整備が必要です。特に新幹線につきましても、東北新幹線が青森まで完成するときは、既に新幹線断面で完成している青函トンネルを活用し、函館までの同時開業の実現を強く訴えて行かねばなりません。このことが国土の22パーセントを占める広大な北海道の開発に大きな力となり、地域の均衡ある発展にも役立つものと考えます。また、東北自動車道と連絡すべき北海道縦貫自動車道の整備が遅れており、一刻も早く本州と連絡しないことには、今後の自動車時代には対応できないことにもなりますので、札幌を中心とした整備ばかりでなく、函館側からの着工を急いで行く必要があります。もう一つの努力を要する問題としては、産業構造上強化して行かねばならないとされている第二期計画が始まりますので、テクノポリス函館計画も、本年度からは第二期計画が始まりますので、これを推進し地元企業の振興そして先端企業の誘致などをはからねばなりません。

一方、現在の函館の状況を支えてきた観光につきましても、日本では只一つ、函館のほかでは見られない長い外国との交流を通して醸し出されるエキゾチックで情緒ある街なみと、昔と殆ど変わらない函館山等の自然環境が程良く調和している西部地区を、今後とも最重点事業の一つとして整備して行く必要があります。また、このような中で流通面や消費面での激しい競争も生じてきており、地元中小企業に対して、街づくりと併せて、きめ細かな対策を進めて行かねばなりません。そのためには、市内三経済団体の協力が非常に重要で、昨年発足した函館経済団体協議会を中心に努力を重ねて参りたいと存じます。

- 一 青函インターブロック交流圏構想の推進
- 二 高速交通体系の確立と函館港の整備促進
- 三 第二期テクノポリス函館計画と企業誘致の推進
- 四 地元中小企業対策と観光資源の整備促進
- 五 人材の確保と育成

を柱として努力を傾注して参る所存であります。特に本年は市制施行七十周年を迎えますので、行政側と相協力致しまして、諸施策の実現を図り、来るべき21世紀に向けて、近隣諸外国との交流も深めつつ、地域商工業の発展のために微力を尽くして参りたいと存する次第であります。

以上所信の一端を申し述べ、より一層の皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。そして、私の新年のご挨拶といたします。

年頭所感



日本商工会議所

会頭 石川 六郎

平成四年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申しあげますとともに、日々活躍の会員の皆様のご健康とご繁栄を心からお祈り申しあげます。

さて、ご承知の通り、ソ連・東欧圏の瓦解により米ソの二極構造が消滅いたしました。このことは、自由主義経済体制が社会主義経済体制に勝利したことを意味するものであり、同時に社会主義・共産主義への移行が歴史的必然であるとするドグマが克服されたことを示しております。

今後世界は、自由主義経済体制を基盤としつつ、米ソ両大国によってコントロールされるのではなく新たな世界秩序を確立していかねばなりません。前途は全く予断を許さないものがあります。両大国による核戦争の脅威こそ減ったものの、民族・人種・経済的利害、宗教、貧富の格差などを原因とする地域紛争が多発する傾向が強まっております。また、南北問題が大きな不安定要因となっております。今後どのようにして世界の安定と平和を確保していくかが世界人類に課せられた最重要の課題であります。

このような歴史的転換期に直面して、我が国は大幅な自己改革に迫られております。戦後四十余年にわたって続いてきた我が国の政治・行政・経済等の諸制度の基本的枠組は、冷戦構造の下で、経済力がまだ極めて小さい時代に作られたものであります。我が国が世界のGNPの15パーセントを占めるまでに成長し、国際社会の中で、我が国の果たすべき役割が飛躍的に増大している今日、状況の変化に適応できなくなっております。湾岸戦争の際にもみられたように、政治は国際情勢の変化に敏速に対応する能力を欠いており、また、経済の分野でも昨今の金融・証券界の不祥事にみられるように、国際的に通用しない慣行が多く残されております。さらに、経済の分野に止まらず、国力に相応しい人的貢献も求められております。

今後我が国は、国際政治・経済協力・人的貢献等さまざまな分野で国力に相応しい貢献を行っていくことが求められており、そのために必要とされる各種の枠組みの改革を、国民の同意と納得を得つつ進めていくことが、21世紀に向けての避けて通れない課題であると思っております。ちなみに、日本商工会議所が昨年行いましたアンケート調査においても、日本の国際的貢献が不十分だとする意見が三分

の二を占めており、また、人的貢献の拡充を求める意見が圧倒的多数を占めております。

当面我が国にとって、急激に変化する国際情勢に敏速・的確に対応していくため、政治的リーダーシップの確立と行政のセクショナリズムの打破が不可欠であり、そのためには抜本的な政治改革並びに行政改革がぜひとも必要であります。とりわけ政治改革は、現下喫緊の課題であります。これらの改革に英断をもって取り組むよう、昨年11月の宮沢新内閣発足直後、政府・国会に強く申し入れをしたところであり、今後の動向を注意深く見守ってまいりたいと思っております。

また、最近の景気は明らかに減速傾向を強めており、その先行きが懸念されております。世界経済が不透明で資金不足が深刻化する中で、我が国に対する資金援助をはじめとする経済協力、技術援助等の要求が益々強まっております。これに応えるためにも、内需中心の安定成長の確保が不可欠であり、機動的な景気対策を、機を失せず実行するよう強く望むものであります。

さらに、我々企業経営者としては、国際化時代を生き抜くため、先端技術の開発に努めるとともに、良質で安価な製品の製造・流通の合理化等を通じ、顧客重視の自由で透明な市場作りを目指すべきであります。また、その際影響を受ける中小企業等に対しては、先手先手と手を打っていく必要があると思っております。

本年一月に予定されております改正大店法の施行や、ウルグアイ・ラウンドにおいて万が一妥協せざるを得なくなった場合等においては、十分な国内的配慮を望むものであります。

今後商工会議所といたしましては、景気が減速傾向を強める中で、中小企業を取り巻く環境には大変厳しいものがあることに鑑み、政府に対し、適時適切な景気対策の実行を求めるとともに、経営改善普及事業の効果的推進、事業承継税制の改善、異業種交流事業の活発化、外国人研修事業の推進などの中小企業の経営基盤強化のための幅広い活動を展開してまいります。

また、改正大店法の施行に対する各地会議所の円滑な対応のために、日本商工会議所としては、先般その実施方策をとりまとめたところであり、今回の改正を機に、地域商業の振興とま各地方を一体的に推進することの重要性が認識されつつあり、今後は、最大限の支援をしてまいりたい所存であります。

最近、世界各国から日本商工会議所を訪れる政府・経済界の要人はとみに増加しており、我が国への期待の大きさを改めて痛感しております。日本商工会議所では、昨年十月に、欧州、米国に続き、東欧諸国への大型経済ミッションや訪ソ使節団を派遣し、民主化と市場経済化に取り組み諸国との交流拡大について話し合うとともに、各地商工会議所と協力協定を締結するなど成果をあげてまいりましたが、今後とも世界各国との交流拡大に努めてまいります。とりわけ本年は、ソ連・東欧との交流をどう進めていくかが一つの大きな課題であると思っております。

今日、商工会議所は全国501都市140万の会員を擁する国内最大の経済団体で成長しております。この力とネットワークを、激動の時代をリードする先見性、創造性、革新性をもって活用し、21世紀に向けて、我が国経済社会のさらなる発展に活動してまいりたいと思っております。

商工会議所活動に対して、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。私

会 議 所 の 動 き



第二回臨時議員総会開催 部会運営規定の改正などを議決

本商工会議所第三回臨時議員総会は、去る十二月四日、ホテル函館ロイヤルにおいて委任出席を含めて八十九人が出席して開催されました。今回の総会は、十一月十八日開催の第一回総務委員会、同二十一日の第一回常議員会において審議された案件を受けて開催されたものです。

議事に先立ち、若林会頭から、



▲総会の冒頭、挨拶する若林会頭

「我が国の経済情勢も下降局面に入り、かげりが予想されるため、今後は慎重に対処していかなければならない。また国際的な政治情勢も波乱含みの環境にある。この難しい時代を乗り越えるのに大きな苦勞をされていると思うが、当所の事業活動に対しても、より一層の協力をお願いしたい」旨の挨拶があり、そのあと議事に入りました。

会議ではまず、各部会や各委員会よりの報告など七案件を了承した後、附議事項の「議員選挙及び選任規約の一部改正」と「部会運営規定の全部改正」について審議され、それぞれ異議なく議決されました。

主な内容は次のとおりです。
(報告事項)

- 一、各部会の正副部会長選任結果について
- 二、道商連からの報告について

- 三、陳情・要望活動について
- 四、部会・委員会よりの報告について
- 五、諸規程等の改正について
- 六、新会員の加入について
- 七、六月から十月までの業務概要について

(附議事項)

第一号議案 議員選挙及び選任規約の一部改正について

字句等の改正を行いました。

第二号議案 部会運営規定の全部改正について

適切な部会運営のために、従前の常任委員に代えて新しく幹事会を設置して、今後効率的に部会運営を行うための第四条の改正と併せ、他の部会及び委員会とも関係ある事項について協議する場合は、合同会議を開催することができることにする第七条の改正を行いました。

また、部会における現行の業種区分は、小分類された百業種から構成されていますが、これを日本標準産業分類の大分類十業種で区分することを基本とすることとなりました。

優良商工従業員表彰式を挙 行 299名が晴れの表彰受ける

本所主催の第三十三回「優良商工従業員表彰式」が、去る十一月十九日、午後三時より駅前拓銀ビル八階ホールにおいて開催されました。

本所では昭和三十四年、会員事業所の労務管理対策の一助とすべく、「同一事業所に永年勤務し、かつ勤務成績が特に優良と認めら



▲盛大に挙行された、優良商工従業員表彰式

れる従業員」の第一回表彰式を実施以来、毎年十一月に表彰式を行っております。

今回は、七十六事業所より推せんの二百九十九名の方々が、晴れの表彰式で表彰されました。

式典は、函館市長、函館市議会議長、渡島支庁長などご来賓をはじめ、多数の事業主の出席のもとで挙行され、初めに主催者を代表して若林会頭から「本日本表彰を受けられる皆様は、職場の違いこそあれ、自らの職責を充分に認識し、永年企業の発展に努力され、ひいては地域経済の発展に貢献されてこられた方々です。本日の表彰を契機に、明日への活力を高め、今後とも企業の繁栄に努力され、住みよい、豊かな郷土『函館』を築いていただきたい」との挨拶がなされた後、受彰者に表彰状と記念品を贈り、永年の努力を讃えました。

これに対し受彰者を代表して、厚谷君博氏（函館信用金庫）から「本日、荣誉ある表彰を受けることができたのも、事業主をはじめ職場の同僚等の深いご理解があればこそであり、今後も初心を忘れず、尚一層の努力を重ねて参ります」と謝辞が述べられました。

当日の表彰者は次の通りです。

※敬称略

※勤続三十年以上、二十年以上、十年以上については代表者のみ掲載

◎勤続四十年以上（日本商工会議所会頭・函館商工会議所会頭連名表彰）

・四事業所四名
高杉義宏（北海道日産化学㈱）

船木一明（丸果函館合同青果㈱）

山田令司（ハコー印刷㈱）

厚谷君博（函館信用金庫）

◎勤続三十年以上（日本商工会議所会頭・函館商工会議所会頭連名表彰）

・二十三事業所四十五名

代表 富樫恵吉（㈱秋山商店）

◎勤続二十年以上（北海道商工会議所連合会会頭・函館商工会議所会頭連名表彰）

・三十二事業所八十七名

代表 渡部哲久（㈱大盛商会）

◎勤続十年以上（函館商工会議所会頭表彰）

・五十二事業所百六十三名

代表 吉田千絵（日研電機）

本所、若林会頭 道商連副会頭に選任される

北海道商工会議所連合会の第二十二期役員を選任する、第十五回臨時会員総会が、去る十一月二十七日札幌市において開催され、本所会頭の若林利次氏

が同連合会の副会頭に選任されました。

なお、任期は平成五年十一月末日までとなっております。

函館経団協設立される 全市的諸問題の検討協議へ

函館商工会議所、亀田商工会を
して銭亀沢商工会の函館市内経済
三団体は、去る十二月十一日、フ
ットネスホテル三三〇において、

「函館経済団体協議会」（略称、
函館経団協）の設立総会を開催し、
運営要綱と各団体から推薦の委員
二十二名を構成員に決め、会長に
は高野本所副会長、副会長には大
角亀田、中浜銭亀沢両商工会長を
それぞれ選任しました。

この函館経団協は、一昨年十二
月から事務局連絡会議、三役会議
をたびたび開催し、各団体の組織、
財政そして事業活動の状況等につ
いて協議を重ね、その結果、去る
十一月二十一日開催の三役会議で
の設立決定を受けて開催されたも
のです。今後は、(一)函館市の街づ
くり、(二)商店街の近代化・活性化
と地域振興、(三)大型店問題、(四)函
館市の主要事業、(五)国・道の公共
事業、そして、(六)市内経済団体の

あり方といった全市的な諸問題を
経済界の立場で検討協議し、結論
の出たものについては、相協調し
て関係方面に要望要請等を行うこ

青函ツインシティ推進協開催 交流事業三ヶ年計画が決定

青森市と函館市とのツインシテ
ィ提携に伴う、文化・スポーツ・
観光・経済等広い分野にわたる交
流事業を推進し、両地域の活性化
と一体的な発展を図ることを目的
とした「青森・函館ツインシティ
推進協議会」が去る十一月十八日
函館ハービービューホテルにおい
て開催されました。

当日は、函館側から木戸浦市長、
若林会頭、青森側からは佐々木市
長、沼田会頭等をはじめとする委
員・顧問三十余名が出席しました。
会議では、はじめに今年度の会
長である木戸浦市長が開会挨拶を

ととしており、会議は年四回程度
開催することになりました。

また、設立のための議事終了後、
函館市企画部福士課長より道路、
鉄道、空港等の高速交通体系や函
館駅の改築、函館港の整備、国立
函館大学設置等の重点推進事項に
ついて説明があり、今後取り組む事
業の一端を知る事ができました。

行い、引続き議長となり、「青森
・函館ツインシティ交流事業三ヶ
年計画案（平成四年～六年度）に
ついて審議を行い原案どおり承認
されました。

なお、この計画の運用にあたっ
ては、四全総に示された青函イン
ターロック交流圏構想に基づき
策定された、国土庁をはじめとす
る関係八省庁の「青函地域総合整
備計画調査」と北海道開発庁が中
心となり策定した「青函圏地域開
発整備事業推進調査」との調整・
整合を図っていくことが重要との
認識が示されました。

謹 賀 新 年

今年もよろしくお願ひ
申し上げます。

〒041 函館市西桔梗町589番地25 函館市中央卸売市場内



函館青果物商業協同組合

理事長 小笠原 孝

TEL (0138) 代 表 49-5511 番
購買部 49-4329 番
FAX 49-5513 番

「サービスマーク」セミナー開催 今春4月導入に向け内容学ば

本年四月一日より導入される「サービスマーク登録制度」に係わる「商標法改正セミナー」が、去る十一月十九日、五島軒駅前支店会議室で開催されました。

当日は、本所発明専門相談員の弁理士早川政名氏が、サービスマーク登録制度導入のため、法改正に至った経緯について、最近の産業構造の高度化・多様化の進展に



▲サービスマークについて説明する早川弁理士

伴い、各産業に関連したサービスの展開や、サービス取引そのものの増大により「経済のサービス化」が進行している。一方、サービスの国際取引拡大に伴い、我が国のサービスマーク保護制度の立ち遅れが指摘され、これが円滑な事業展開を妨げているとの国際的批判が高まってきたことなどを背景として、今回の法改正となった点を説明しました。

さらに、今回の改正によるサービスマークとは、広告、金融、建設、通信、輸送、教育、娯楽、情報、宿泊等のサービス（商標法では「役務」）の提供を業とする人が、自社（自分）の提供するサービスを、他社（他人）の同じようなサービスと識別（区別）するために使用するマークをいい、このサービスマークを登録することにより、使用の権利（独占権）が与えられる。これにより、誰からも

排除されることなく、そのサービスマークを使用でき、さらに、そのサービスマークと同一または類似のサービスマークを使用している他社（他人）に対して、その使用を禁止（差止請求）することができる等の権利が付与されることを強調、また、サービスマークの登録を受けるための三つの条件として、(一)文字、図形、記号またはこれらの結合したものであって、自己と他社とを識別（区別）し得るものであること、(二)他社（他人）のサービスマークの出願と競合する場合には、他社（他人）より先に出願されていること、(三)商標法で定める不登録事由に該当しないことなどについても詳しい説明がなされました。

なお、具体的な登録手続きについては、登録制度施行当初にある特例措置等を活用することができますので、詳細については、今月二十二日(水)午前十時より本所にて開催致します発明相談（相談員、弁理士・早川政名氏）でご相談下さい。

70年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03) 3946-0531 <代表>

発明相談 1月22日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申込み下さい。



事務局日誌

11月

*** 正副会頭会議**

- 13(水) 第1回正副会頭会議
- 21(水) 第2回正副会頭会議

*** 常 議 員 会**

- 21(水) 第1回常議員会

*** 部 会**

- 1(金) 理財部会
- 29(金) 商業部会正副部会長会議

*** 委 員 会**

- 18(月) 第1回総務委員会
- 28(水) 第1回情報対策委員会

*** 会 議 (日 商)**

- 14(水) 平成3年度商工調停士会

*** 会 議 (道商連)**

- 6(水) 第21回運営委員会
- 11(月) 北海道ブロック中小企業相談所長会議
- 20(水) 平成3年度全道商工会議所補助員研修会
- 27(水) 第107回常議員会
 - ◇ 第115回臨時会員総会
 - ◇ 第22回運営委員会

*** 審 査 会**

- 7(水)・18(月) 小企業等経営改善資金の審査会

*** 諸 会 議**

- 3(日) 自民党総務会長 佐藤孝行氏を囲む講演会
- 6(水) 日本団体生命保険商工会議所共済制度推進協議会
- 7(水) 税務懇談会
 - ◇ 函館地域市場開拓促進セミナー
- 8(金) 本所管理職会議
 - ◇ 議員会役員会
 - ◇ 函館奉行所復元促進期成会講演会
- 11(月) 本所労働保険事務組合監査指導
- 12(水) 函館都心商店街近代化委員会第10回ワーキング部会
 - ◇ デザイン開発に関する研修会
 - ◇ 「テクノポリス函館」企業立地説明会
- 13(水) 大門まつりを考える懇談会
 - ◇ 函館地域雇用協議会
 - ◇ 函館地域人材確保推進協議会
 - ◇ 駐道大使堤功一氏との夕食懇談会
 - ◇ (仮)函館地区産業保健活動推進協議会設立準備委員会
- 14(水) 函館市都市計画審議会
- 15(金) 平成3年度渡島支庁管内市町村長と商工会長会議
 - ◇ 函館繊維商組合正副組合長会議
 - ◇ 函館日米協会設立記念シンポジウム
 - ◇ 道北ブロック商工会議所専務理事事務局長との懇談会
- 18(月) 青森・函館ツインシティ推進協議会平成3年度総会
 - ◇ 北海道瓦斯(株)佐々木社長との夕食懇談会
- 19(水) 税務広報連絡協議会
- 20(水) 郡山市福島空港活用促進協議会視察研修
 - ◇ 所報「ともえ」11月号 No.125編集会議
- 21(水) 議員会役員会
 - ◇ 函館市亀田・銭亀沢商工会と本所との三役会議
- 22(金) 雇用保険事務取扱説明会
 - ◇ 四共済受託幹事会社事務担当者会議
 - ◇ 函館都心商店街近代化委員会第12回ワーキング部会
- 25(月) 議員会役員会
 - ◇ 活力と潤いのある函館を築く会
- 27(水) 本町市場共同店舗再開発計画策定会議
 - ◇ 国立函館大学促進期成会第20回企画専門部会

- 27(水) 函館港まつり協賛会協賛金関係打合せ会議
 - ◇ 丘珠空港に係わる懇談会
- 28(水) 原子力問題懇談会
 - ◇ 平成3年度分野調整指導調査員連絡会議
 - ◇ 函館市競輪運営委員会
- 29(金) 函館市三役、企画・商観部長と本所三役との懇談会

*** 講 習 ・ 催 物**

- 1(金)・5(水)・6(水) } 複式簿記講習会
- 7(水)・8(金) } 複式簿記講習会
- 12(水)・15(金)・19(水) } 記帳講習会
- 22(金)・26(水)・29(金) } 記帳講習会
- 13(水) 経営相談
- 18(月) 法人の年末調整説明会
- 19(水) 商標法改正特別セミナー
 - 「はじめまして!サービスマークです」
- 20(水) 発明相談
- 21(水) 企業防衛セミナー「債権回収あの手・この手」
- 22(金) 法律相談

*** 刊 行 物**

所報「ともえ」11月号 No.125

*** 陳 情 ・ 要 望**

金融 115 税務 23 経理 6 経営 81 労働 2
合計 227

*** 貸 室**

17

*** 文 書**

受信 211 発信 14

*** 検 定**

17(回) 簿記検定

*** 陳 情 ・ 要 望**

- 6(水) 北海道新幹線建設促進に関する要望 (現駅誘致期成会)
- 6(水)~8(金) 函館・福岡間直行航空路線の開設に関する要望
- 11(月) 事業承継円滑化のための税制措置に関する要望
- 25(月) 自由民主党道連 移動政調会に対する要望
 - ◇ 平成4年度税制改正、中小小売商業対策並びに小規模事業対策に関する緊急要望
- 26(水) 青森・ソウル国際定期便の開設について

*** 慶 弔 ・ そ の 他**

- 1(金) 北海道菓子卸商業組合函館支部永年勤続優良社員表彰
- 4(月) 函館機械金属造船工業協同組合連合会平成3年度優秀技能者表彰並びに永年勤続優良従業員表彰式
- 11(月) 札幌市内主要官公庁等正副会頭就任挨拶
 - ◇ 渡島地方技能尊重運動推進協議会表彰式
 - ◇ '91タックスフェア
- 12(水) 北海道コンピューター航空実験運航出発式
 - ◇ 函館税務署平成3年度納税表彰式
- 14(水) 平成3年度函館市技能功労者表彰式及び函館市中小企業永年勤続者表彰式
 - ◇ 函館市銭亀沢商工会創立30周年記念式典
 - ◇ ホテル函館ロイヤル創業25周年記念祝賀会
- 17(日) 道南建設二世会街づくりコンペ表彰式
- 19(水) 第33回優良商工従業員表彰式
 - ◇ 早川弁理士を囲む懇談会
- 22(金) (社)函館競馬場馬主協会平成3年度社会福祉財団助成金目録贈呈式
- 25(月) 平成3年度函館家具工業(協)永年勤続優良従業員表彰式
- 26(水) 日ソ友好親善の夕べ
 - ◇ 駐札幌ソビエト連邦総領事夫妻表敬訪問
- 27(水) (社)函館市医師会官庁首長招待会
- 28(水) 函館税関119周年記念式典
- 29(金) 函館酸素(株)炭酸製造所披露並びに午餐会
 - ◇ ワールドエアネットワーク(株)シンガポール初便運航記念式典



事務局日誌

12月

*正副会頭会議

- 4(木) 第3回正副会頭会議
- 16(月) 第4回正副会頭会議

*総会

- 4(木) 第3回臨時議員総会

*議員会

- 4(木) 議員会総会・歳末懇親会

*部会

- 2(月) 観光サービス部会(議員)
- 19(木) 工業・農水産・理財合同部会(議員)

*委員会

- 17(火) 文教委員会正副委員長会議
- ◇ 文教委員会
- 18(水) 国際交流委員会
- 25(水) 青函圏特別委員会正副委員長会議

*@審査会

- 2(月) 小企業等経営改善資金の審査会
- 13(金) ◇ ◇

*ブロック会議

- 13(金) 道南商工会議所連絡協議会

*諸会議

- 3(火) (財)テクノポリス函館技術振興協会
平成3年度第2回理事会
- 4(水) 所報「ともえ」新年号企画
木戸浦函館市長と若林会頭との新春対談
- 5(木) サンタ・マリア号に関する打合せ
- 7(土) 1991年度(社)函館青年会議所会員大会
- 9(月) 北海道小売商業振興指針道南地域懇談会
- ◇ 湯川商店街活性化計画第2回策定委員会
- ◇ 函館ケーブルテレビ放送(株)主総会・懇親会
- 10(火) (財)テクノポリス函館技術振興協会
技術審査委員会及び地域技術選定委員会
- 11(水) 卸売業連携促進会議(主催・北海道)
- ◇ 函館経済団体協議会設立総会
- ◇ (仮称) 函館地区産業保健活動推進協議会設立総会

- 12(木) 四共済受託生命保険会社支社長との連絡会議
- 19(木) 明治生命保険(相)の夕食懇談会
- 20(金) 日本団体生命主催道内商工会議所専務理事会議
- 24(火) 函館都心商店街近代化基本計画策定委員会
第3回近代化委員会
- ◇ 函館商業活動調整協議会
- ◇ 平成3年度函館地域デザイン振興連絡会議
- 25(水) 函館アクアコミュニティ構想協議会第2回会議

*講習・催物

- 3(火) 記帳講習会
- 6(金) ◇
- 11(木) 経営相談
- ◇ 青色申告決算説明会
- 13(金) ◇
- 27(金) 法律相談

*陳情・要望

- 4(木) 本所、亀田・銭亀沢商工会三者による市補助金の陳情
- 20(金) 東北新幹線(盛岡-青森間)、北海道新幹線建設促進
三道県総決起大会
- ◇ 整備新幹線建設促進全国総決起大会
- ◇ 北海道東北開発公庫の本店設置に関する陳情
- ◇ 函館-ウラジオストク間の定期航路開設に関する陳情
- 21(土) 青函ツインシティとしての新幹線陳情
- 22(火) 北海道新幹線建設促進期成会平成3年度第3回中央陳情
- 23(水) 北海道選出国議員との新幹線に関する朝食懇談会

*相談・診断

- 金融 57 税務 52 経理 21 経営 118 その他 2
- 合計 250

*貸室

12

*文書

受信 134 発信 11

*検定

- 1(日) ワープロ3級検定試験

*慶弔・その他

- 6(金) 本所常議員藤谷作太郎氏勲三等瑞宝章受章祝賀会
- ◇ コミュニティマート構想に基づく
西街区街路整備事業完成式・祝賀会
- 10(火) 東邦生命保険(相)函館支社謝恩の夕べ
- 13(金) サンタクロース歓迎会
- 18(木) 湯元啄木亭別亭天新築記念祝賀会



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ
申し上げます。

函館製材協同組合

〒040 函館市若松町26番11号(函館木材会館内)

事務局 ☎22-4004

【組合員】(株) 藤山製材所 ☎41-5560 FAX41-1874
 田島木材(株) ☎49-2121 FAX49-0461
 宗山木材(株) ☎73-3161 FAX73-3428
 (有) 湯ノ川木材 ☎58-3939 FAX58-3939

春

(掲載は五十音順となっております)

北海道旅客鉄道(株)
常務取締役函館支社長

青山 繁 樹

若松町二二一三

住友生命保険相互会社函館支社
支社長

伊与部 武

本町七一八
(道銀・住友生命ビル)

(株)近藤商会
代表取締役社長

池見 厚 一

西桔梗町五八九

函館米穀(株)
代表取締役社長

石上 伊佐男

万代町二〇二八

布目水産食品冷蔵(株)
代表取締役社長

石黒 義 男

弁天町一七一〇

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務

泉 清 治

高松町五二一(函館空港内)

キングハイヤー(株)
代表取締役会長

今川 重 男

美原二二七一

丸卓不動産(有)
代表取締役

遠藤 烈 子

宝来町二二一五

(株)ティーオー小笠原
代表取締役会長

小笠原 金 悦

港町三一八一五

(株)ティーオースイミングスクール
代表取締役社長

小笠原 孝

本通三一八一

小熊水産倉庫(株)
代表取締役社長

小熊 勝 夫

大町二二四

大一興業(株)
代表取締役

大越 勝 己

昭和二一四三一五〇

東邦生命保険相互会社函館支社
支社長

大瀧 敏

本町六一二二

酒

(株)陶陶亭商事
代表取締役

加地 彦太郎

若松町一八二〇

JTB函館支店
支店長

梶田 實

本町七二二

加藤組土建(株)
代表取締役社長

加藤 健太郎

千歳町三二二

(株)棒二森屋
代表取締役社長

荻野 清

若松町一七二二

日本化学飼料(株)
代表取締役社長

川田 寛

浅野町三二六

東一函館青果(株)
代表取締役社長

木戸浦 辰夫

西桔梗町五八九二三五

函館魚市場(株)
代表取締役社長

木村 勝太郎

豊川町二七二六

第一生命保険相互会社函館支社
支社長

菊地 隆夫

本町六一七

(株)北村船具店
代表取締役社長

北村 寛

弁天町三二二二

真鉄工業(株)
代表取締役社長

倉崎 六利

浅野町四一八

(株)高木組
代表取締役社長

黒田 憲治

東雲町一九一三

東日本フエリー(株)
常務取締役

犬童 偉之

港町三一一九二

道南ハイヤー(株)
小島商事(株)
代表取締役

小島 悦郎

桔梗町二七二二